

## 会 議 録

会 議 名	令和4年度文化によるまちづくり推進委員会（第1回）	
開 催 日 時	令和4年11月21日（月） 18時～19時30分	
開 催 場 所	山陽小野田市役所3階 大会議室	
出 席 者	岸田 茂、齊藤 大二郎、比嘉 朝康、廣田 由実、池上 雅代、東原 秀一、坂井 久美子、縄田 五月、原 雅典、竹内 道子、松永 進、湯城 明彦、岩本 信子、塩田 賢二	委員数 17人 出席者数 14人 欠席者数 3人
欠 席 者	穠本 真一、八橋 裕起、縄手 秀樹	
事務担当課 及び職員	市民部文化スポーツ推進課 市民部：川崎部長 文化スポーツ推進課：石田課長、原田主幹、別府	
会 議 次 第	1 市民部長あいさつ 2 出席者自己紹介 3 議題 「山陽小野田市文化芸術振興ビジョン」アクションプラン（案）の策定について 4 その他 次回会議について	
事務局	<p><b>次第3 議題</b>  <b>「山陽小野田市文化芸術振興ビジョン」アクションプラン（案）の策定について（基本目標ごとに協議を行った）</b>  <b>基本目標①について、事務局から重点プロジェクト①-1～4の主要事業（取組事項及び内容等）を説明。</b></p>	
委員	<p>事務局から説明があったが、不明な点があるので教えてほしい。部長の挨拶では指針の策定とあったが、アクションプランとは行動計画ではないのか。このアクションプランが目指すものについて事務局から示されていないが、我々が目指すものが明確になっていない。以前作成したビジョンは展望や構想ということで、計画期間を9年間とした。アクションプランはビジョンにつながる具体的なものでないといけない。考え方は、主要事業の取組事項及び内容等で問題ないが、時系列に「いつ、誰が、何をする」のか明記することが大事である。</p>	
事務局	<p>アクションプランが目指すものは作成中であるが、昨年度策定いただいた山陽小野田市文化芸術振興ビジョンの下にあるものと考えている。そのため4つの基本方針（①文化芸術の創造・発展・継承と</p>	

	<p>教育、②創造的で活力ある社会、③心豊かで多様性のある社会、④地域の文化芸術を推進するプラットフォーム) が、アクションプランが目指すものとなる。</p>
委員	<p>アクションプランは何なのか。委員の共通認識が必要。指針なのか、行動計画なのか、位置づけをはっきりした方が良い。</p>
事務局	<p>アクションプランなので行動計画と捉えてほしい。ビジョンを達成するために動き方の方向性を示したものを作成したい。</p>
委員	<p>行動計画と行動指針は異なる。行動計画であればそのような作りをする必要があり、行動指針であればその下に行動計画が必要になるのではないかと。行動計画では、目標達成までのステップを明確化する必要があると考えるが如何か。</p>
委員長	<p>入口の部分で話題が止まったままなので、もう少し先に進んで立ち返ってみてはどうか。ほかに内容について意見はないか。</p>
委員	<p>委員の意見に感じるところがある。アクションプランでは、人や予算の都合があると思うが、どの課が何をやるのか書くべきでは。</p>
事務局	<p>県内外、他市のアクションプランを確認したところ、内容は様々であった。本市におけるアクションプランは、文化スポーツ推進課が取り組む内容を記載している。他の課と連携する事業もあるが、基本的には文化スポーツ推進課が予算を要求したり、事業化を計画したりするものを挙げている。</p>
委員長	<p>委員の指摘については、ビジョン策定時にも同様の意見が多数あったと記憶している。その解決策として情報共有が大事で、事務局としては今年度から新たにインスタグラムを始めたと聞いている。</p>
委員	<p>アクションプランには、基本フレーム／目標を挙げているとの理解でよろしいか。</p>
事務局	<p>国の基本計画の中にある4つの目標を、山陽小野田市のビジョンでは基本方針として掲げている。そして、その基本方針に基づく本市の取組を基本フレーム／目標としている。</p>

事務局	基本目標②について、事務局から重点プロジェクト②-1~3の主要事業（取組事項及び内容等）を説明。
委員	P10の主要事業には「文化芸術データベースの構築と活用」とあるが下段の時系列表には「データベース構築」とあり、図表内も令和5年度から企画と構築のみが令和8年度まで引かれている。データベースの活用は、令和9年度以降となるのか。
事務局	データベース構築を、データベースの構築と活用に変更する。どのようなデータベースが良いのか検討中であり、出来次第活用する意向である。
委員	この内容だと、いつから検討して、いつから活用するのか見えてこない。令和6年から活用するのか、令和7年から活用するのか書く必要がある。予算の絡みや時代の変遷とともに内容が変わることは仕方ないが、当初はこんな計画であると記入すべき。
委員	私も同じようなことを感じた。その中で、P16にビジョン検証と適正な評価の記載があることから、現時点でよく分かっていないことを検討するのではなく、検証と適正な評価において精度を上げていけば良い。
委員	定時評価は何月にやるかぐらいは書く必要がある。そうでなければ、いつやるのか見えにくい。
委員	コーディネーターの確保を早くした方が良い。来年には確保しないといけない。市が求めるコーディネーター像はまだ確立できていないのか。
委員長	先程あった情報の共有についてと似たような話になるが、ビジョン策定時に指定管理者業者という考え方があった。継続性が非常に重要であることは言うまでもない。
委員	文化芸術には人材が重要な「カギ」になる。そのためコーディネーターをいつ確保するのか計画を立ててほしい。
委員	データベースの内容は、アーティスト一覧を作成するのか、イベントカレンダーを共有するのか。考えが知りたい。
委員長	P7の市民文化祭等の充実にあたるが、昨年から市民文化祭で「心に残っ

	<p>た作品」というテーマで投票を始めた。そうすると一昨年まで200名程度の入場者数が、昨年は1,200名に、今年は会場変更があり不便になったが、それでも500名の来場者数があった。投票だけで随分違う。ここで委員の質問にお答えすると、賞金が出たり、名誉を授けたりするコンテストがあれば、今まで見向きもしなかった芸術家たちが自ら名乗り出てくるはず。仕組みの問題であり、これについて追い追い話しをしていけば良い。如何か。</p>
委員	<p>コーディネーターが一番初めに決める必要がある。そうしなければ、アクションプランはできないのでは。またインスタグラムは何人が見ているのか。30名ぐらいしかいないのでは。</p>
委員	<p>5月から開設したインスタグラムは316名のフォロワーがいる。様々な文化事業、レノファ山口やパラサイクリングなどのスポーツ事業をタイムリーに情報を発信しており、市内外からのフォロワーが増えている。同じ時期に始めた他市よりは断然多い。</p>
委員	<p>このような場で改めて発信してもらいたい。</p>
事務局	<p><b>基本目標③について、事務局から重点プロジェクト③-1～2の主要事業（取組事項及び内容等）を説明。</b></p> <p>（質問等なし）</p>
事務局	<p><b>基本目標④について、事務局から重点プロジェクト④-1～4の主要事業（取組事項及び内容等）を説明。</b></p>
委員	<p>P13の「文化会館の改修整備」について、機能を付加していくとあるが、いつ頃検討するのか。</p>
事務局	<p>中長期整備計画の報告内容にも拠るが、機能を付加する点については、今年度市民文化祭の展示を文化会館のロビーで行った。事務局としては、展示スペースの機能付加が叶えば、文化イベント開催時だけでなく、文化会館に足を運ぶ回数が増えるものと考えている。</p>
委員	<p>非常に良い考えである。次に、記載項目について、主要事業の取組事項の名称と時系列表の名称が同じものもあれば、違うものもある。同じにした方が分かりやすい。また、軒並み、令和4年度ないし、令和5年度</p>

	から行うこととなっているが、予算の関係を含め、メリハリをつけた方が良いのでは。
事務局	正直、事務局としても悩んでいる。主要事業の取組事項と時系列表の名称が違う点については、幾つかある取組事項をまとめているからである。意図としては、総合的・包括的に取り組んでいく必要があると考えた。ただし、委員の皆様の意見が、同じにした方が良いということであれば修正したい。
委員長	書き直すということか。
事務局	あくまで素案として提出している。委員の皆様の意見を尊重したい。
委員	全体的な感想を述べると、この内容だとアクションプランではないのではないかと。行動指針とか活動指針の方が良い。アバウトな内容で毎年見直していけば良い。カタカナ言葉は分かりづらい。如何か。
委員	行動計画、アクションプランではないと思う。しかし、今年は何をやるとか追加で資料を出してもらえれば、アクションプランで良いのでは。一つやって欲しいこととして、市民が気軽に行ける市民ギャラリーの確保をお願いしたい。
事務局	文化会館の機能付加によるものや公共施設に限らず民間施設も含めたかたちで検討していきたい。特に、今年度からガラスアート作品を民間施設に貸し出しており、日本化薬厚狭工場や山口トヨペット小野田店で展示をしているところである。
委員	ここにいるメンバーの任期は来年までだが、今後も継続するのか。
事務局	継続していく。
委員	17名の委員がいる中で、全体で検証すると今日と同じく意見が出ないのではと危惧している。
事務局	全体で話しをすると確かに意見が出にくい。昨年度ビジョン策定時には、多岐にわたることから部会に分かれて協議を行った。
委員	重点プロジェクトの内容は重なる部分が多いので、グループ分けが難しい。

委員	テーマごとに事務局で5人程度の部会で協議するのか、全体で協議するのか、分けてみては如何か。市の中心となる事業は全体協議で進めるべき。
委員	4つのプロジェクトには重なりがあるため、委員仰せのとおりにする方が良い。全体を読んでみてどういう風に進めていくのか、コーディネーターの存在が大きいと考える。
事務局	コーディネーターの重要性は事務局としても認識している。ただし、芸術文化アドバイザーが居られること、また指定管理者制度の話もあるためコーディネーターについては前向きに取り組んでいきたい。
委員	委員の意見に賛成。適材適所で配置したら良い。それよりコーディネーターの件だが、公募してみても面白い。市がビジョンを示して募集すれば応募があるのでは。
委員	検証のやり方そのものは委員の意見に賛成。ただし、検証に当たっては、この内容では不十分と考える。もう少し具体的な事業を記入する必要がある。
委員	他の委員が云われるとおり、関係する部署が検証に当たること。また共通の認識が持てる具体的な内容が提示された方が検証し易い。
委員	コーディネーターから具体的な提案が出てきて、それを検証していく必要があると考える。
委員	検証するにしても量が多過ぎる。重点的にやる・やらないを分ける必要がある。
委員	指導者（コーディネーター）がいないと分かりづらい。
委員	企業のアクションプランと異なるが、この内容で評価するのであれば、具体的な事例を一つでも良いので記載した方が良い。また事業にメリハリを付けた方が良い。その結果、例えば10年後の文化会館がきれいになっていて音も良くなったとか、展示が見られるようになったとか、市民からの声が聞こえるようになっていれば成功ではないか。
委員長	今日のまとめとして、コーディネーターの意見が多かったので、事務局

事務局	<p>には考えてほしい。また、意見があったように「選択と集中」を検討すべきである。</p> <p><b>第4 その他</b></p> <p>第2回の会議の日程案について報告。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・第2回会議 令和5年1月中旬頃を予定。</li></ul> <p>改めて委員の都合を確認し、日程を決める。</p>
-----	--